

# 福井県

## 福井県における精神障害者の 地域移行について

福井県では精神障害者の方の地域での生活を支援するために、医療、保健、福祉の関係機関が連携体制を構築しながら、安心して暮らせる地域包括ケアを目指します。

## 1 県又は政令市の基礎情報

### 福井県



### 取組内容

#### 【精神障害者の地域移行の取組】

- 保健所を中心とした地域移行体制の推進
- 精神障害者の地域移行に対応できる人材育成のため研修

### 基本情報

圏域数 (H29年5月末)	4カ所
人口 (H29年5月1日)	779,012人
精神科病院の数 (H28年6月末)	15病院
精神科病床数 (H28年6月末)	2,298床
入院精神障害者数 (H28年6月末)	3か月未満：468人 (24.3%)
	3か月以上1年未満：347人 (18.1%)
	1年以上：1106人 (57.6%)
退院率 (H28年6月末)	入院後3か月時点：66.2%
	入院後1年時点：87.2%
相談支援事業所数 (H29年5月末)	一般相談事業所数：25
	特定相談事業所数：85
障害福祉サービスの利用状況 (H28年2月)	地域移行支援サービス：5人
	地域定着支援サービス：5人
保健所 (H29年5月末)	6カ所
(自立支援)協議会 (H29年5月末)	(人材育成について議論)：人材育成部会 (活動頻度)：2回/年
精神保健福祉審議会 (H27年9月末)	1回/年、委員数10人

※H29年6月時点

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 【主な取組概要】

#### ○保健所を中心とした地域移行支援体制の推進

- ・精神科病院との連携による地域移行支援

【事業の概要】精神科病院を退院する患者等に対し、保健所が医療機関と連携して地域移行支援を行う。

- ・精神障害者の地域移行に関する協議会の設置

【事業の概要】障害者の地域移行・地域定着を進めるにあたり、地域の現状、課題を整理し今後の具体的な取組みについて検討

#### ○精神障害者の地域移行にも対応できる人材育成のための研修

【事業の概要】県内の関係団体との共催により、精神障害者の地域移行にも対応できる人材育成のための研修を開催

## 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む市・圏域（例）

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(〇〇市の場合)
	協議の内容	
	協議の結果としての 成果	
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	・精神障害者の地域移行に関する協議会の設置（保健所単位）
	協議の内容	・精神障害者にも対応する地域移行・地域定着に関する現状及び課題の整理 ・現状及び課題を踏まえた施策の検討
	協議の結果としての 成果	
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての 成果	

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度

## 保健所を中心とした地域移行支援体制の推進

実施主体: 県(保健所単位)  
内容: 精神科病院を退院する患者等に対し、保健所が医療機関と連携して地域移行支援。  
精神障害者の地域移行に関する協議会の設置予定

## 市町自立支援協議会における地域移行支援

実施主体: 市町  
内容: 各市町、地区の障害者自立支援協議会の精神支援部会等が就労支援部会と連携を取りながら地域移行支援を行う。

## 地域移行に対応できる人材育成のための研修

実施主体: 県(総合福祉相談所)  
内容: 県内の関係団体との共催により、精神障害者の地域移行にも対応できる人材育成のための研修を開催

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

### 特徴(強み)

1. 保健所(県)が中心となって管内の精神障害者の地域移行・地域定着に関わる精神保健、医療、福祉、市町等関係機関と顔の見える連携体制ができている。
2. 人材育成研修は、県精神保健福祉士会、県障害者相談支援専門員協会等の関係団体との共催で行っており、現場のニーズに応じた研修を行うことができる。

### 課題

1. 地域の受け皿の事業所の不足
2. 地域移行・地域定着に対応できる人材の不足

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移

NO	指標	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	1,219	1,189	1,106
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	4	5	6
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	4	4	5
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	0	0	0
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	0	0	0

### 【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。  
 ※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。

## 7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度の実施スケジュール

### 平成29年度の目標

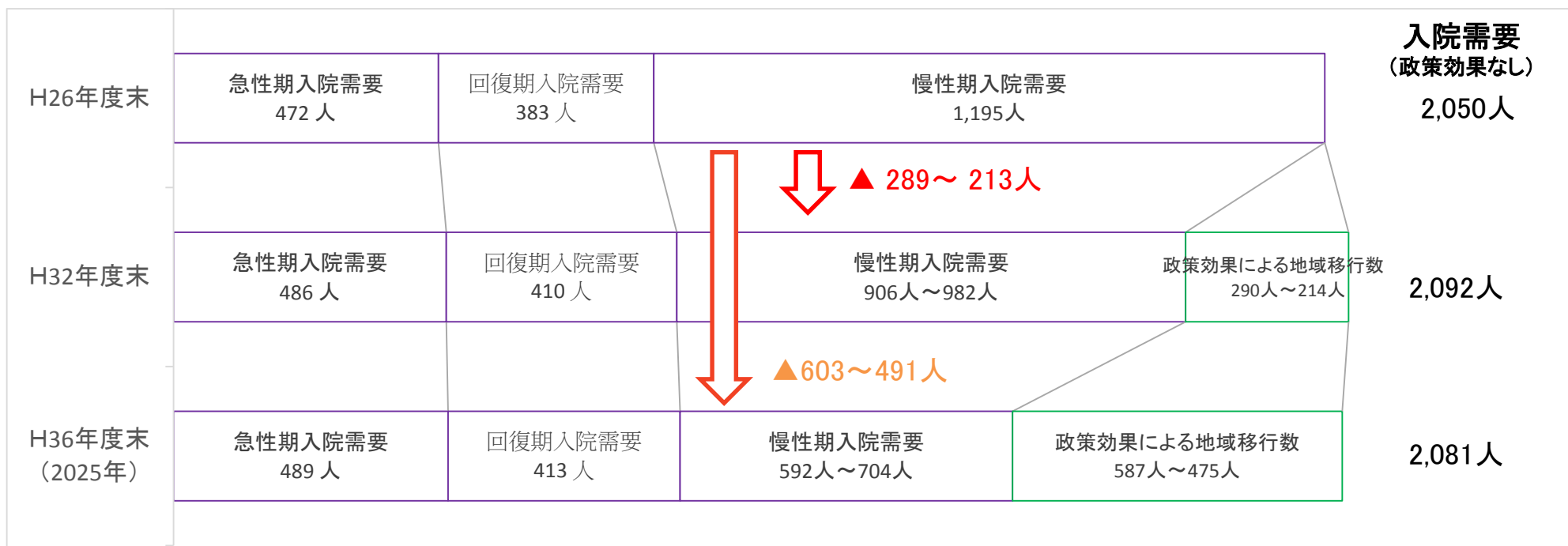
1. 精神障害者の地域移行にも対応できる人材育成のための研修
2. 地域における連携会議の開催

時期(月)	実施内容	担当
H29年4月 ～	地域における連携会議	保健所(管内の医療・保健・福祉等の関係機関)
11月	精神障害者の地域移行にも対応できる人材育成のための研修	県(総合福祉相談所)、関係団体



# 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた目標設定（福井県）

- 政策効果を見込まない将来の入院需要を推計し、①「地域移行を促す基盤整備」、②「治療抵抗性統合失調症治療薬の普及」、③「認知症施策の推進」による政策効果を差し引いて、入院需要の目標値を設定



## 平成36年度末(2025年)までの政策効果の見込みの内訳

政策	地域移行する長期入院患者数の見込み(政策効果)	
① 地域移行を促す基盤整備	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)以外 (長期入院患者(認知症除く)の30～40%)	374～280人
② 治療抵抗性統合失調症治療薬の普及	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)の25～30%	165～163人
③ 認知症施策の推進	認知症による長期入院患者の13～19%	48～32人

合計 587～475人 9